

vol. 2265

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館  
TEL / (097) 556-2838 FAX / (097) 556-8998 MAIL / ohtwu@view.ocn.ne.jp

# 大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】(株)佐伯コミュニケーションズ 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に入れて徴収しています)



今号の掲載内容 (掲載順)

- 2022年新春のごあいさつ

## 2022年新春のごあいさつ

### 教職員をめぐる諸課題の解決、 憲法改悪を許さないとりくみを

大分県高等学校教職員組合

執行委員長 おおの 大野 しんじ 真二

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大から、2回目の新年を迎えました。社会のあり方や生活様式が、大きく変化したといわれますが、感染症に対する対応に追われる中、社会が激変したというよりも、生活実感としてはいつの間にか新しい様式に慣らされただけのような気がします。

昨年後半から収束の気配を感じてはいましたが、新たな変異株の出現によって不安感はぬぐえません。おそらく感染拡大以前の状況に完全に戻ることはなく、様々な分野で新しい状況が生まれるだろうということです。昨年、小学校での35人学級が学年進行で進められています。これは40年ぶりの定数改善であり、引き続き中学校・高校の少人数学級を実現させなければなりません。また、中教審の答申を受け、教員免許更新制も廃止に向けて動き始めました。わたしたちが望んでいたのは単純な制度廃止でしたが、文科省はあくまで「発展的解消」とし、「教師の新たな学びの姿」という概念をでっち上げ、研修強化や研修履歴の管理などを打ち出しています。私たちが求める学校教育の充実にむけて、とりくみの重要性は増すばかりです。

昨年10月末の総選挙では、1年前に党内で圧倒的な支持を集めた総理の首をすげ替えるという、自民党の戦略が当たり、自公の議席を微減に留めました。一方、自民党の別働隊である日本維新の会が議席を増やしたことで、憲法改悪めざす勢力としては、議席増となりました。わたしたちは平和運動センターや連合の仲間とともに総選挙にとりくみましたが、かろうじて「吉川はじめ」の比例区当選で踏みとどまった状況であり、自公政権を倒すことはできませんでした。とりくみに足りなかったものは何だったのか総括し、憲法改悪を許さず、そして、わたしたちの学校現場の状況を国政に反映させるため、今年7月に行われる参議院議員選挙では、「古賀ちかげ」の必勝に向け、高教組一丸となつてとりくみましょう。

わたしたち教職員の勤務労働条件の改善はもちろん、学校をめぐる諸課題の解決、公平公正な社会の実現、そして憲法改悪阻止に向け、今年度も、高教組は組織の力を結集してとりくむことを確認し、年頭のあいさつといたします。

2022年の初頭にあたり、連帯する組織と議員から多くのメッセージが寄せられました。次ページより掲載しています。

## 新たな年を、確かな前進の年に

日本教職員組合 中央執行委員長 **清水 秀行**

大分県高等学校教職員組合の皆さま、あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスは日本の社会や経済を直撃し、就職活動や入試にも深刻な影響を与えています。また、感染症対応の最前線となる公立学校共済組合の直営病院で働く公立連合の仲間にご敬意を表します。

日教組はこの5年余り、学校における働き方改革を推進し「給特法改正」を実現させました。今年は、教育現場に大きな負担を強いてきた教員免許更新制が廃止の方向ですすみます。これらの成果は、分会の組合員と単組の運動の積み重ねです。今後とも日政連議員・推薦議員との関係を強化し、政策実現にとりくんでいかななくてはなりません。今年7月の参院選では比例代表の「古賀ちかげ」さんの勝利にむけ、組織一丸となって邁進していくことが必要です。子どもたちに平和で民主的な社会を引き継ぐため、憲法・子どもの権利条約の理念のもと教育改革を展開し、とりくみを強化していきましょう。

## 安心社会へ 新たなチャレンジ ~すべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在へ」~

日本労働組合総連合会・大分県連合会 会長 **佐藤 寛人**

2022年、新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。常日頃から連合大分運動に対するご理解とご支援に改めて感謝を申し上げます。

さて、この2年間のコロナ禍において、私たちの命と暮らしは多くの働く仲間を支えられていることを再認識させてくれる一方で、わが国の社会的セーフティネットはあまりにも脆弱であることを露呈しました。今、わが国が直面している「不安定雇用の増加」「中間所得層の地盤沈下」「貧困の固定化」「格差の深刻化」等をはじめとする社会課題の解決に労働運動はその役割を果たせるのか。私たちはその重要な局面に立っています。

この局面を乗り越えていくためには、働く者一人ひとりが、「労働組合とは、自分自身が持つ貴重なツール」であるという認識を持ち得るように私たち組織労働者が働きかけていくことが求められます。

とりわけ、これまで労働組合と距離があったり、連合や産別・単組・支部・分会の存在を知り得なかったりした働く仲間との関係づくりを進めていきたいと思えます。

当面する課題は、組織強化拡大、2022年春季生活闘争、ジェンダー平等、政策制度の実現と第26回参院選など多岐にわたっています。私たち連合大分は、「対話」「参加」「協働」の運動で未来を切り拓く運動を構築し、機関会議で決定したことは、「かみ合ったタテとヨコ」を軸に、連合大分組合員『総がかり』で存在感を示す運動を進めていきます。

「私たちが未来を変える」「私たち連合大分が大分から未来を変える」ことを誓い合い、今年も高教組の皆さんの絶大なご理解とご支援をお願いして、年頭のご挨拶とします。ともにがんばりましょう。

## 憲法改悪を阻止するとりくみを

大分県平和運動センター 事務局長 **姫野 正二**

大分県高等学校教職員組合のみなさん、あけましておめでとうございます。

平素より大分県平和運動センターのとりくみに対して、高教組一丸となってご協力をいただいていることに心よりお礼を申し上げます。あわせて、昨年定期総会で、高教組大野委員長がセンター議長に選出されたことにご配慮頂きまして、ありがとうございます。

昨年10月の総選挙のとりくみ、大変おつかれさまでした。2区3区とも小選挙区の勝利は、かないませんでした。九州比例区で「吉川はじめ」の4期目の当選を勝ち取ることができました。しかし総選挙の結果では、与党議席は微減であったものの、日本維新の会が議席数を大幅に増やしたことによって、改憲勢力が過去最大となる大変厳しいものでした。憲法改悪を阻止するため、今年夏の参院選には、全力でとりくまねばなりません。また、国政以外にも、3月に日出町議選、4月に国東市議選・臼杵市議選が行われます。参院選の勝利だけでなく、平和センターとともにとりくむ自治体議員の議席も勝ち取らなければなりません。

反戦平和のとりくみでは、沖縄の辺野古新基地建設がコロナウイルス感染拡大の情勢下でも、軟弱地面の埋め立て工事が続いていますし、また鹿児島県馬毛島での基地整備と米軍訓練移転など日米同盟強化の名目で、南西諸島の軍事基地化が進められています。また、米軍の核の傘を容認し、核兵器禁止条約への参加を頑なに拒む政府の対応は、人類史上で唯一の被爆体験を持ち、平和憲法をいただく日本がとるべき対応ではありません。

国民の生活を顧みない自公政権に、私たちの怒りをぶつけ、国民が本当に安心して暮らせる社会を実現するため、県平

和運動センターもみなさんと全力でとりくむことをお誓いし、新年のあいさつとします。ともに頑張りましょう。

## 国民の命とくらしを守る政治にシフトチェンジ!

立憲民主党大分県連合 代表 <sup>よこみつ</sup>横光 <sup>かつひこ</sup>克彦

みなさま、新年明けましておめでとうございます。

日頃より高教組に結集される皆さま方から絶大なるご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年の衆議院議員選挙での絶大なるご支援にあらためて感謝申し上げます。

新しい年を迎えましたが、今年も戦いは続きます。この夏の参議院選挙全国比例では、組織内候補であり、立憲民主党公認の「古賀ちかげ」さんの必勝が第一であります。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の猛威は、今なお学校現場にも多大なる影響を及ぼしております。厳しい状況が続いている中で、様々な対策にとりくんでおります皆さまに敬意を表します。

私ども立憲民主党は「政策立案政党」として、これからもコロナ対策、そして分配が届く経済政策、社会保障の充実を確立していくために、全力でとりくんでまいります。

本年が皆さま方にとりましてより良い年となりますようお祈り致しまして新年のご挨拶とさせていただきます。

## 7月の参議院選が社民党の命運をかける闘い

社会民主党大分県連合 代表 <sup>くぼる</sup>久原 <sup>かずひろ</sup>和弘

大分県高等学校教職員組合のみなさん、新年明けましておめでとうございます。昨年に引き続きコロナ禍の中で大変な一年間であったと思います。

コロナ感染は、いましばらく続くと思っておりますので、そのことを前提に闘いをすすめていく必要があります。

昨年私はこの新年号に「社民党の進むべき道は立憲民主党と合流することだ」と記載しました。

その私が社民党の代表としてこの新年号に投稿しているように、大分県の社民党は健在です。

これまで社民党を支えてくれた多くの仲間が社民党で共に闘おうと言っています。

しかし、それは今年7月に行われる参議院選挙が正念場です。この闘いで現有議席を守ること、そして2%以上の得票獲得が必要です。

そのために全力を挙げて闘います。そして、社民党の旗を高く掲げることが民主教育を進めるうえで重要と考えます。社民党に対して変わらずあたたかいご支援をお願いし新年のごあいさつとします。

## 長時間労働是正へ正念場

日政連・衆議院議員 <sup>よしかわ</sup>吉川 <sup>はじめ</sup>元

大分県高教組の組合員、ご家族の皆さん。新年明けましておめでとうございます。昨年の総選挙では選挙区での議席獲得に至らず、九州比例区での当選となりました。4期目を迎える中、今まで以上に地域に根を生やし、信頼される存在になれるよう尽力する決意です。

さて、学校現場の働き方改革が端緒に就いた途端、新型コロナウイルスの猛威により、皆さんの労働は一層、過重になっているのではないかと危惧します。ICT教育の推進も「1人1台端末」の実現に矮小化され、端末を使用した授業のあり方は、一偏に先生方の努力に委ねられているという声も耳にします。長時間労働の是正は、やはり少人数学級の実現と教職員定数の改善にあると考えます。学校現場の実態から目を背けることなく、働き方改革が実効性を伴うよう、微力ではありますが、皆さんと手を携えて頑張りたいと思います。

本年が、実り多き1年となりますことを祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

## 希望の持てる一年に

参議院議員 <sup>よしだ</sup>吉田 <sup>ただとも</sup>忠智

新年おめでとうございます。昨年も大変お世話になり、御礼申し上げます。衆議院選挙では、大分2区「吉川はじめ」、3区「横光克彦」、1区「吉良州司」へのご支援に心より感謝申し上げます。

岸田政権は、「分配」「新しい資本主義」の名の下に、格差拡大を助長しています。2年間のコロナ対策で浮かび上がったのは、公務公共サービスの切り捨てによる危機対応力の低下と教育現場へのし

わ寄せ、負担増でした。野党第一党の一員として、長時間労働の是正と教育予算の拡充にも努めて参ります。

今後国会では、岸田総理はじめ一部野党が憲法改正を公言しており、警戒が必要です。改憲阻止のため、本年7月の参議院議員選挙で同志の勝利に向けて、私もとりくみを強化して参ります。

本年が皆様方にとって幸多き年、希望の持てる年になりますよう、祈念申し上げ、年頭のご挨拶にさせていただきます。

## 「ICT教育よりも大事な日々の関わり」

参議院議員 **安達 澄**

あけましておめでとうございます。いまだ新型コロナウイルスの影響が尾を引く中、教育現場で様々なご対応に苦心されている先生方に感謝申し上げます。

文科省のGIGAスクール構想のもと、小中そして高校においても、ICTを積極活用した授業や学習が推奨されています。コロナ禍においてはオンライン授業の導入が進んだ一方、環境整備や準備等が不十分であり、先生方のご負担も大きくなったのではないのでしょうか。

ICTを活用し多様でより豊かな学びを得られることは有用な点もありますが、やはり教育の根幹は先生と生徒のつながりが一番であり、生徒それぞれの個性や能力の伸長は、先生方との日々の関わりの中で形成されるものだと思います。

雑務に時間が割かれ、子供たちと向き合う時間や授業の準備に影響が生じているとも耳にいたします。よろしければ、ぜひ現場で奮闘されている先生方のお声を聞かせてください。一緒に考え、改善に向け働きかけていきたいと思っております。

(kiyoshi\_adachi@sangiin.go.jp)。

最後に、組合の皆さん、そしてご家族にとって、健やかな良き1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

## 教職員のみなさまが働きやすい環境をつくるために

日政連・参議院議員 **水岡 俊一**

大分県高等学校教職員組合のみなさま、あけましておめでとうございます。日々子どもたちのためにご尽力されている教職員の方々に心より敬意を表します。

昨年3月に成立した改正義務標準法により、公立小学校の「35人学級」が実現することになりました。実に約40年ぶりとなる学級編成の一律引き下げによって、よりきめ細かな指導が可能となりますが、そのためには教職員の定数拡充が不可欠です。教員免許更新制度の廃止方針が決まるなど、改善のきざしがある一方で、教職員の業務負担を減らす施策は後手に回っています。とりわけ教員免許更新制廃止に伴い、新たな研修が教職員に課されるようではこの間進めてきた教職員の「働き方改革」とは逆行することになってしまいます。政府・与党に対しては、教育現場への手厚い支援を行うよう、日政連議員の仲間とともに引き続き強く求めています。

本年も教職員のみなさまが働きやすい環境をつくるために、がんばってまいります。

## 平和と民主教育確立のために

日政連・参議院議員 **那谷屋 正義**

大分県高教組の皆さま、明けましておめでとうございます。

日頃からのご支援・ご指導に感謝するとともに、新しい年が皆さまにとって素晴らしい1年になりますことを心からご祈念申し上げます。

昨年の衆院選では残念ながら議席を減らすこととなりましたが、皆さまには多大なるご支援を頂き御礼を申し上げます。

また、昨年コロナ対策に明け暮れた一年となりました。学校現場の皆さまにとっては、多忙極まる中での教育活動に敬意と感謝を申し上げます。

さて通常国会では、教員免許更新制度の廃止に向けた法案が提出される予定です。文科省にはこの悪法の徹底した総括、今後のとりくみの説明責任をしっかりと果たさせることが重要です。

私事ですが皆さまのあたたかいご支援の下、3期18年間、参議院議員として務められたことに心から御礼を申し上げます。古賀ちかげさんが私の後継として比例代表で立候補予定です。平和憲法維持・民主教育の確立・女性参画推進の実現のために勝利していただかなければなりません。皆さまのご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 子ども・くらし・平和 現場の声を届けます

参議院議員 日政連候補予定者 **古賀 千景**

新年あけましておめでとうございます。

平素からのご支援に感謝申し上げます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症を常に意識しながらの一年でした。そのような中、学校は可能な限り通常の学校生活を送れるよう、工夫と努力を重ねる日々ではなかったかと思えます。リモート授業の整備など、新たな対応も求められています。

教職員のみなさまが、生き生きと教育活動に専念できる環境整備は喫緊の課題です。引き続きみなさまと一緒に教育を取り巻く課題にとりくんでまいります。

2022年、いよいよ挑戦の時を迎えます。皆様からのご意見や声を糧にご期待に沿えるよう日々邁進する覚悟です。引き続きのご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年が、皆様にとって健康で、さらなるご活躍の年となることをご祈念申し上げます。

## さくらの杜高等学校に期待します

大分県議会議員 **尾島 保彦**

新年あけましておめでとうございます。今年も何卒よろしくお願い申し上げます。昨年はコロナウイルス感染症が猛威を振るい、ワクチン接種等、大変な一年でした。現在小康状態にありますが、「新変異株」オミクロン株の国内流行も懸念されることから、引き続き不織布マスクの着用や十分な換気など、エアロゾル対策にとりくむ必要があります。今年こそは、コロナ禍を克服して普通の生活が戻って来るよう強く願っています。さて、今年4月に待望の「さくらの杜高等支援学校」が開校します。今後は専門的な授業による知識や技術・技能の習得に加え、実技の場として企業団体との連携も重要となって来ると思えます。特別支援学校生の一般就労を促進する拠点として、大きな役割を果たして欲しいと期待しています。おわりに、これからも県政の中で教育課題にとりくんで行く決意を申し上げ、新年のご挨拶とします。

## 若者の政治参画で社会は変えられる

大分市議会議員 **高野 博幸**

新年明けましておめでとうございます。

昨年2月に行われました大分市議会議員選挙では大変お世話になりました。高教組の皆さまの力強いご支援をいただき7期目の当選を果たすことができました。心から感謝とお礼申し上げます。

内閣府の調査によりますと社会に不満がある20代の率は49%で、欧米よりずっと高く、その一方で政策決定に参加したくない者も54%おり、この両方に当てはまる者、すなわち社会に不満があるが政治参加は望まない者は29%います。社会に対する不満が政治的関心へと昇華されないのが日本の若者の特徴と言えます。我慢ばかりして自らをあやめるものもいれば、非合法の手段に訴える者もいます。そこにおいて学校教育の果たす役割は大きく、政治参画で社会は変えられることを具体的な事例でもってわからせる必要があると思えます。

今後とも平和と民主教育を守るために皆さまと共にがんばってまいります。

結びに、今年1年が皆さまにとってよい年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 高教組運動と一体的なとりくみを

大分県高等学校退職教員協議会 会長 **梶原 悟**

高教組の皆さん、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。昨年の夏、前会長の藤島先生の後を受け、会長になりました梶原悟と申します。どうぞよろしく。

高退協は「民主教育を進める県民会議」などを通して、高教組・県教組・保護者の皆様と共に、平和・人権・民主主義を守る運動をしています。全国・九プロの仲間と連帯し、上記の運動を進めています。

「コロナ」の関係で2年ほどできていませんが、定期総会や懇親会を行うと共に、高退協会員のきずなを深める為に、年2回の通信を発行しています。

今後ともどうぞよろしく申し上げます。

# あけましておめでとうございます

大分県高校生協は、教職員の福利厚生に一端を担う相互扶助組織とする職域生協として、組合員の安全で安心して暮らしてを求め、ともに支え合う共生社会の実現のために、職員一丸となってがんばっています。本年も大分県高校生協のご利用とご協力をお願いいたします。

- 共同購入
- 指定店・協力店
  - 紳士服 メガネ 宝石 文具/事務機 絵画 高麗人参
  - 豚肉加工品 白蟻予防/駆除 住宅/マンション 塗装
  - 住宅機器 リフォーム デザイン/印刷
  - ガソリン エンジンオイル 電解水素水浄水器 他
- 旅行・航空券
- 指定整備工場
- 葬祭事業
- 共済・保険事業
- クレジットカード
- オンラインショッピング (PC・家電・書籍等)

協同の輪をひろげ、組合員のくらしと仕事を総合的にサポートする  
平和で安心して暮らせる社会の実現をめざして

## 大分県高等学校生活協同組合

理事長 大野 真二  
専務理事 三重野 修次

大分市大字下郡496-38 大分県教育会館内  
TEL：097-556-4666/FAX：097-556-9388  
URL：www.oita-koseikyouschool-info.jp/

### あんしん むすぶ 教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

#### あけましておめでとうございます

今年も各共済のご加入・ご利用よろしく申し上げます。

#### 教職員共済とは

- 厚生労働省の認可を受けた、共済事業を行う生協です。
- 教職員・教育関係者だけが加入できる共済生協です。
- 教職員を組合員とする、教職員と家族を守るための共済生協です。

#### 「教職員」の皆さまの生活をトータルサポート!

- |                                      |   |                                      |                               |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|-------------------------------|
| 総合共済                                 | トリプルガード<br><small>(団体生命共済・医療共済)</small> | レスキュースリー<br><small>(交通災害共済)</small>  | 自動車共済                         |
| 火災共済<br><small>(住宅火災等特約火災共済)</small> | 新・終身共済<br><small>(終身生命共済)</small>       | 年金共済<br><small>(年金共済・遺族年金共済)</small> | 車両共済<br><small>(車両保険)</small> |

※総合共済以外の共済は、ご退職後もご利用いただけます。

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 大分県事業所 所長 横道信哉  
大分市大字下郡 496-38 大分県教育会館 2F TEL：097-556-4300

### あけましておめでとうございます

九州ろうきんは、皆さまに支えられ、昨年10月に20周年を迎えることができました。これまでの皆さまからのご愛顧に対し深く感謝申し上げます。

これからもろうきんは、ろうきん運動を通じて、最も身近で信頼される金融機関をめざしてまいります。

今後とも、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

九州労働金庫大分県本部

本部長 山本新彦



九州ろうきん20周年特別金利  
教育ローン キャンペーン リフォームローン  
キャンペーン期間 2022.3.31(木)まで  
詳しくはホームページをご覧ください

# 謹賀新年

あけましておめでとうございます。

旧年中に組合員の皆さんからいただいたご厚情に熱く感謝申し上げます。

憲法をめぐる情勢が厳しくなった今、私たちは「教え子を再び戦場に送るな」の不滅のスローガンのもと、憲法改悪を許さず、いのちを守るとりくみに邁進します。

皆様の今年一年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

高教組本部一同

執行委員長 大野 真二  
副執行委員長 牧 貴史  
副執行委員長 瀬尾 彰一  
書記長 窪田 一真  
書記次長 仁木 史絵  
執行委員 茨木 里香  
執行委員 工藤 洋子

執行委員 渡邊 龍也  
書記 葛城 美華子  
書記 田邊 智恵美  
書記 野村 宏美

\*\*\*\*\*  
特別執行委員 則松 佳子 (日教組中央執行副委員長)  
特別執行委員 尾島 保彦 (大分県議会議員)

